

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念を作り上げている。	さらに地域と支えあい、独自の理念を深めていきたい。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	取り組んでいる。	更なる向上に向けて、管理者、職員との情報交換等を密に行う。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	年一回の地域、家族、職員間で交流会を設けている。推進会議を設け、少人数ずつではあるが参加してもらっている。	まだ2回しか行っていない推進会議等で、より多くの方の参加してもらいながら理解を深めていきたい。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩に出た際などあいさつや、近所の方から声を掛けてもらう。	立ち寄ってもらった際、ゆったりとした対応が出来るようにしたい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・ゴミステーションの当番。 ・地域の草取り。 ・地域の総会。	より地域との交流を深めたいと、4月より運営者も自治会等に参加し、交流に努めている。

グループホーム虹の郷(1Fユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>6 事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>今現在取り組んでいない。</p>		<p>認知症施設なので地域の方に理解をすすめていきたい。</p>
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
<p>7 評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>前回の評価17年6月にあり、改善できた部分もある。</p>		<p>今回も評価を受け、見直し改善に取り組みたい。</p>
<p>8 運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議で出た意見をまとめ、職員会議で話し合い、活かしている。</p>		<p>今後、多くの家族の方に参加していただき、サービスの向上に努めたい。</p>
<p>9 市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>困った事や迷いがある時は相談している。</p>		
<p>10 権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>全職員の勉強会は行っていない。</p>		<p>ケアマネージャー研修を行った者から中心に行っていきたい。</p>
<p>11 虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>現状では虐待防止法関連の勉強会を開いていないが、虐待防止に努めている。</p>		<p>学習係があるので、これから勉強会を開き、理解を深めていきたい。</p>

グループホーム虹の郷(1Fユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>事前面接や契約時に、理解してもらったり、退所のときは日々利用者の様子を面会時等で報告しながら理解していただく。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>生活の中から意見、要望などを汲み取り、行っている。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時や緊急の場合など、家族にその都度利用者の状況を伝えている。</p>	<p>今後行っていきたい。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご意見箱の設置、ご家族からの意見を汲み取っている。</p>	<p>職員一人ひとりが家族の方との交流、話をする機会を持っていきたい。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議の時などに提案している。</p>	<p>職員の意見等が、運営者にも伝わり、更に反映されるよう努める。</p>

グループホーム虹の郷(1Fユニット)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	病院受診や行事日など、職員の勤務の調整を話し合っている。		利用者の状況に合わせた、早番・遅番の勤務時間の調整をしていく。
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	1F・2Fの利用者の配置を決めている。異動は出来るだけしない。		異動する時は、少し前から顔合わせ等をし、コミュニケーションをとるようにしている。
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各職員の、段階に応じての研修を受けている。		社会人として、接遇・職務遂行。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	開設時は行っていた。しかし、職員が変わり、現在はほとんどしていない。		他施設との交流する機会を、何らかの形で持ち、意見交換などをしていきたい。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	季節よっての親睦会があり、仕事を離れての交流がある。		職員の休憩室をさらによりよく作ってきたい。

グループホーム虹の郷(1Fユニット)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>学習委員会を設けて勉強会を行っている。</p>		<p>仕事に関する、職員一人ひとりの悩みや思いを聞いてもらいたい。</p>
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>				
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会を作り、受けとめる努力をしている</p>	<p>日常の中で利用者の話を聞き、受け止める努力をしている。</p>		<p>利用者一人ひとりとのコミュニケーションを取り、信頼関係作りは、特に入所してすぐは、心がけている。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会を作り、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご家族と話をする機会が少ない。</p>		<p>職員が積極的に声を掛けていき、信頼関係を築き、困っていること等を受け止められるようにしていく。</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>努めている。</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>場合によっては行っている。</p>		

グループホーム虹の郷(1Fユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>生活の中で、利用者の出来る範囲の中で、お手伝いをして頂いている。また、本人のこれまでの経験などを会話などを通じて学んだりしている。</p>	<p>今後も本人の気持ちに気づき、感謝の気持ちを持ち共に生活していきたい。</p>
28	<p>本人と共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時や施設における交流会にて、利用者と共に生活する中で共に生活を支えている関係を築いている。</p>	<p>面会時など家族の時間の許す限り一緒に食事を摂ったりしながら、よりよい関係をさらに築いていきたい。</p>
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>職員が家族背景を理解し、それに応じた対応を行っている。</p>	<p>これまでの関係を理解し、利用者のいわゆる問題行動のみでなく、利用者の良い所に気づきながら支援していきたい。</p>
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>外出の希望があるときは、ご家族とも連携をとりながら、送迎を行っている。郵便物を一緒に出しに行ったり、ポストへの投函を代行している。</p>	<p>毎週、日曜日の教会、知人との食事、お見舞い等、一部の方ではあるが行っている。今後も行っていきたい。</p>
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>利用者のその日の気分や状態に応じて一緒に会話をしたりレクリエーションなどを行っている。</p>	

グループホーム虹の郷(1Fユニット)

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>必要としている家族に対しては、断ち切らない関係を築いている。</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>				
<p>1. 一人ひとりの把握</p>				
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>可能な場合は本人より希望を聞き、本人より聞き取りが困難な場合は、生活を共にする中で職員が思いを汲み取ったり、ご家族より意向を聞いている。</p>		<p>一日の計画もあるが、今本人が何をしたいのかの見極めを行っている。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居時ご家族にセンター方式の用紙へ記入をお願いし、一人ひとりの生活歴の把握に努めている。</p>		<p>入所後、日々生活から、本人の出来ること出来ないことの気づきの面をこれからも努力していきたい。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>日々の生活の中で気づいたことなど、記録に残し、職員全員が共有し、把握できるよう努めている。</p>		<p>健康に気をつけ、一日の過ごし方をプランにも挙げ、一人ひとり何が出来るかを見極めている。</p>
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>				
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>担当者会議を設け、ケアマネージャーと共に話し合い、家族や必要な関係者の方々の要望を反映した介護計画を作成するよう努めている。</p>		<p>家族や必要な関係者の方も担当者会議に参加していただき、話し合えるようにしていきたい。</p>

グループホーム虹の郷(1Fユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況が変わったときは、サービス担当者会議を開き、介護計画を見直している。		サービス担当者会議に家族も参加していただけるようにしていきたい。
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録等からも情報を集め、介護計画を作成している。		記録の書き方は、さらなる工夫が必要だと考える。例えば、問題となっていることばかり書くのではなく、よかった事を見出す書き方など。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している			
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	利用者やご家族の意向を聞き、それに応じた支援を行っている。		今後も必要に応じて支援を行っていきたい。

グループホーム虹の郷(1Fユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	推進会議において協働を図っている。		推進会議においてさらなる協働を図ってきたい。
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者本人や、家族の希望を聞き、かかりつけ医の受診を行っている。		今後も継続し支援していく。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力病院があり必要に応じてメンタルクリニックを行っている。		今後も継続し支援をしていく。
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員は、現在はいない。		今後は訪問看護を必要と考えている。
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院した際は、病院関係者との情報交換や相談を行っている。		家族と相談しながら、出来るだけ早い退院に努めている。
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	今まで、虹の郷でターミナルを向かえた方がいない。早い段階から家族とは話し合いを行っている。		

グループホーム虹の郷(1Fユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ターミナルについての研修を行った職員はいるが、ターミナルを行う現場で経験をした職員はまだいない。しかし、取り組む姿勢は全職員が持っている。現在は、協力病院との連携で行っている。		いずれはターミナルをと考えているが、今現在、虹の郷では行っていない。実際には、かかりつけ医と家族と相談している。また今後、看護師の常勤がいないため、訪問看護との連携を深め、検討していく必要はあると考える。
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	多くは、病院への入院の方が多い。		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いやプライバシー確保について、職員会議などで話し合い職員一人ひとりの意識の向上につながるよう、取り組んでいる。		その人だけの内容については、全員いる前では聞かない。例えば、便の確認については、他の人の前では、聞かないなどの対応をしていきたい。
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の意向を汲み取り行っている。		さらに何が出来るか、本人、家人、職員間で話し合っていく。

グループホーム虹の郷(1Fユニット)

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースを大切にするように努めている。</p>		<p>買い物、外出、受診等支援している。</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>利用者本人が希望する場合は、その希望に沿うようにしている。</p>		<p>来てもらっている美容師対応が多い。数人の方は家人が行きつけの美容院にも行っている。</p>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>行えている。</p>		<p>献立作成時、希望を聞いている。また、誕生日の方がいればその方の好みのものを聞き献立に入れている。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>一緒に買い物に行き本人が好きなおやつ、飲み物を購入している。</p>		<p>行っている。</p>
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>排泄の失敗がないように、声掛けや誘導、また訴えに応じ対応している。</p>		<p>リハビリパンツを使用している方やオムツを使用している方でも時間誘導をいっている。</p>

グループホーム虹の郷(1Fユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	以前は、利用者が好きな時間に入浴してもらっていたが、現時は曜日を決め行っている。		今、虹の郷では、好きな時間で入浴を望む方が少なく、今日は何曜日だからお風呂だねといった声掛けを行い入浴してもらっている。
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	その人にあった休息の時間に沿うことができる。		必ずしも自分の部屋だけでなく、職員のそばで休んでもらったりしている。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	お手伝いできる方にはして頂いている。ドライブや買い物、散歩などを行っている。		もっと楽しみごとがあればとは思われるが、現在でも行い考えている。
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の所持や使うことの出来る方もいれば、そうでない方もいる。		出来る方には自分の財布で、自分で財布を管理し、行っている。
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や車での外出など、本人のその日の希望を尊重し、出掛けられる場合は外出できるように努めている。		出来る限り、少しの時間でも外へ出る機会を作っている。

グループホーム虹の郷(1Fユニット)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ドライブや外出、外食など出来るように努めている。		現在でも行っており、家族への声掛けも行っている。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙のやり取りが出来る方もいれば、そうでない方もいる。		希望のある方には行っている。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも訪問していただけるような雰囲気作りを心がけている。		入所の時等に家族や、お友達等にも面会に来ていただけるように話はしているが、現状は少ない。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	代替の方法がなく、事故の危険性があるときのみ拘束を行っている。その際家族に説明し、同意書を書いていただき、一ヶ月に一回見直しをしている。		取り組んでいる。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけないケアに取り組んでいる。		取り組んでいる。

グループホーム虹の郷(1Fユニット)

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>職員同士声を掛け合いながら所在確認を行っている。</p>		<p>特に離設の可能性がある方は、所在確認にて安全確保をしている。</p>
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>一人ひとりの状態を見て、それが注意が必要なものであるか、判断している。</p>		<p>行っている。</p>
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>利用者一人ひとりに合った対応をし、事故防止に取り組んでいる。</p>		<p>もっと事故報告書を活用し、出来るだけ未然に防ぐようにしていきたい。</p>
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>職員の連絡網や緊急の場合の対応マニュアルを作成している。</p>		<p>定期的に応急手当などの訓練を行っていききたい。</p>
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>避難訓練を定期的に行っている。</p>		<p>さらに職員の意識向上をしていき、災害時の対応をしていきたい。</p>
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>	<p>危険防止のため家族と話し合い、対応策を検討している。</p>		<p>全家人と話している。さらに危険度の高い利用者については、面会の都度連絡をしている。</p>

グループホーム虹の郷(1Fユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>体調の変化や異変に気付いた際は他の職員にも伝達し勤務交代時は申し送りにて行っている。</p>	<p>協力病院への報告、受診、家人への報告は必ず行っている。</p>
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>利用者処方箋ファイルを作成し、職員一人ひとりの理解の向上に努めている。</p>	<p>処方箋の変更等ある場合は、職員全員に伝達している。</p>
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>繊維のある食物や、オリゴ糖の入った飲み物を飲んでもらう。また、体操や散歩を行うよう取り組んでいる。</p>	
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>見守りや支援を行い、口腔内の清潔保持に努めている。</p>	<p>毎食後、必ず行っている。</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量が少ないときは本人が好きな物を捕食をするなど栄養、水分量が確保できるように支援している。</p>	<p>行っている。</p>

グループホーム虹の郷(1Fユニット)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症については、代表職員が勉強会に参加し知識の向上に努め、他職員へ勉強会を開いている。		他の感染症などについても、予防や対策を勉強し検討し行っていきたい。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒が多発する時期には、まな板の除菌や手洗いなどをこまめに行っている。また、通常時も食器乾燥機の使用やお茶や食事の前に手を拭いてもらう事を行っている。		食材は毎日購入している。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花を植えたりして、親しみやすい雰囲気になるよう心がけている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには季節のものなどを飾ったり、居心地のよい雰囲気となるように心がけている。		中庭を、さらに活用する為、スロープ等設けたい。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング、デッキ、中庭など思い思いに過ごせる場所の工夫をしている。		もっと工夫を行っていきたい。

グループホーム虹の郷(1Fユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>83 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>持ち込めるなじみの家具がある場合は、部屋のスペースなども考慮し行っている。また、居室を利用しない利用者の方もいる。</p>		
<p>84 換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>季節に応じて温度調節や換気をこまめに行っている。</p>		<p>行っている。</p>
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>85 身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>段差をなるべくなくし、捕まり歩きが出来るように手すりを設置し出来るだけ自立して生活できるようにしている。</p>		
<p>86 わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>一人ひとりに応じて手伝いや気分転換の為、散歩やドライブを行っている。</p>		<p>トイレの場所や一人ひとりの部屋の入り口が分かるよう工夫をしている。</p>
<p>87 建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>デッキや中庭にテーブル、椅子を設置している。花や草木があることで、利用者が憩うことが出来たり、草取りなどの活動が出来るよう活かしている。</p>		<p>利用者がお花を植えたり、もっと工夫は必要だと考える。</p>

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

グループホーム虹の郷(1Fユニット)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所に つけること)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

グループホーム虹の郷(1Fユニット)

項目		取り組みの成果 (該当する箇所に をつけること)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている
		少しずつ増えている
		あまり増えていない
		全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が
		職員の2/3くらいが
		職員の1/3くらいが
		ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が
		利用者の2/3くらいが
		利用者の1/3くらいが
		ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が
		家族等の2/3くらいが
		家族等の1/3くらいが
		ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・毎月の行事を決めてある。
- ・外出日を設け、外出(ドライブなど)を行う。
- ・毎年一度、家族や地域の方々との交流会を行っている。
- ・運営推進会議を行い、少しずつ理解を深めようとしている。
- ・受診時の援助、付添い。